

報道関係者各位

2011年3月12日

**国際NGO セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
東北地方太平洋沖地震
子どもの保護を最優先に支援の検討を開始**

社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

今回の地震で、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

子どもたちのための民間の国際援助団体(NGO)社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(理事長:上野昌也/理事・事務局長:渋谷弘延、以下 SCJ)は、3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震に関して、被災状況の情報収集と、今後の支援体制に関して検討を開始しました。



写真提供 ロイター

SCJ では、被災を受けた子どもたちの保護と、心のケアを最優先に情報を収集しています。被災した子どもたちに必要なのは、できるだけ早く非日常から日常の生活に戻ることです。子どもの権利推進団体として、海外での経験やノウハウを活かして、災害現場において子どもの権利の侵害が見られる場合や、起こる可能性が高い場合に、子どもの権利を守る対応を検討しています。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、1986年に設立され、25年に渡りアジアを中心に子ども支援活動を展開、現在は、ベトナム、ネパール、モンゴル、ミャンマー、アフガニスタン、スリランカ、スーダンに日本人を駐在させ、教育支援や栄養改善プログラムなどに取り組んでいます。また、緊急災害時には、世界連盟のメンバーとともに、世界中で緊急援助活動にもあたっています。

■セーブ・ザ・チルドレンとは

1919年に英国で設立された子ども支援の国際NGO。現在、世界で29のそれぞれ独立した組織がパートナーを組み、世界最大のネットワークで約120カ国で活動を展開しています。